

第 87 回全日本学生ヨット選手権大会

大会期日：2022（令和 4）年 11 月 2 日（水）～2022（令和 4）年 11 月 6 日（日）
開催地：滋賀県立柳が崎ヨットハーバー（〒520-0022 滋賀県大津市柳が崎 1-2）
共同主催：全日本学生ヨット連盟、近畿北陸学生ヨット連盟
公認：公益財団法人日本セーリング連盟（承認番号 2022-29）
後援：滋賀県、大津市、滋賀県スポーツ協会、
特定非営利活動法人滋賀県セーリング連盟、京都府セーリング連盟、
石川県セーリング連盟、富山県セーリング連盟、日本 470 協会
一般社団法人日本スナイプ協会
協賛：日建・レンタコムグループ、日建レンタコム株式会社、日建リース工業株式会
社、明治商工株式会社、古野電気株式会社、株式会社 BAY WORKS
協力：びわ湖大津館

レース公示

通告には以下の 3 種のツールを用いる。

・公式掲示板は、オンライン掲示板 Racing rules of sailing を使用し、帆走指示書の変更などの各種通告や大会文書の入手、審問予定、判決結果など審問に関わるものに使用する。



[オンライン掲示板 \(Racing rules of sailing\)](#)

・LINE オープンチャットは、ブリーフィングや開閉会式の時刻、zoom URL 案内、陸上掲揚した旗の内容、調停呼び出し、暫定成績などその他会場アナウンスの用途などに使用する。



[LINE オープンチャット](#)

・近畿北陸学生ヨット連盟公式ホームページは、各種 Google フォームの入手先に使用する。



[近畿北陸学生ヨット連盟ホームページ](#)

オンライン掲示板への掲示、LINE オープンチャット、大会本部前に設置された補助的掲示板への掲示に関して掲示物の有無、時刻の誤差などが生じた場合、オンライン掲示板への掲示された情報を有効とする。

略語：

[DP] の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができることを意味する（セーリング競技規則 序文『表記』参照）。

1. 規則

- 1.1 本大会には『セーリング競技規則 2021-2024』（以下、「RRS」という）に定義された規則が適用される。
- 1.2 以下の規約および申し合わせ事項を適用する。



[\(全日本学生ヨット連盟のホームページから入手可能\)](#)

- (1) 全日本学生ヨット連盟規約
 - (2) 470 級学連申し合わせ事項
 - (3) スナイプ級学連申し合わせ事項
 - (4) 艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項
- 1.3 付則 P の「セール番号」を「識別番号またはセール番号」に置き換えて適用する。これは付則 P1 を変更している。
 - 1.4 RRS 付則 T を適用する。
 - 1.5 RRS 40 を次のように変更する。

[DP] 競技者は、着替え等のための短時間の着脱を除き、出艇してから帰着するまでの間、適切なライフジャケットを着用していなければならない。この項は RRS 第 4 章前文を変更している。
 - 1.6 RRS 41(a)~(d)に加えて、「(e) 自チームの他艇からの情報」を追加する。
 - 1.7 RRS 60.1(b)(艇は救済要求することができる)に以下を追加する。

「ただし、艇は自チームの他艇から受けた損傷又は傷害に基づいて救済要求を行うことはできない。」
 - 1.8 RRS62.1(b)及び(d)のあとに、「但し、同じ学校の艇を除く。」を追加する。
 - 1.9 次の規則を追加する。「インシデントが同じチームの艇の間であり、接触がなかった場合、第 2 章の規則違反に対してのペナルティーはないものとする。」
 - 1.10 SCIRA 規則の『国内及び国際選手権大会の運営規定』は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き、適用されない。

2. *[DP]* 広告

艇は、主催団体によって選択され支給される広告を表示するよう要求されることがある。この規則に違反した場合には、World Sailing 規定 20.9.2 が適用される。

3. 競技種目

国際 470 級、国際スナイプ級

4. 参加資格および申込

4.1 参加資格

- (1) 本大会には、各水域における予選を行い、各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学のチームが参加できる。
- (2) 各水域の推薦枠は次の通りとする。

国際 470 級

	北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州
基本枠	1	1	6	1	2	2	1	1	2
特別枠			2		1	2			1
開催地枠					1				
合計 (24 校)	1	1	8	1	4	4	1	1	3

国際スナイプ級

	北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州
基本枠	1	1	6	1	2	2	1	1	2
特別枠			2		2				2
開催地枠					1				
合計 (24 校)	1	1	8	1	5	2	1	1	4

- (3) 参加チームの競技者は、次の項目を満たしていなければならない。
 - (a) 全日本学生ヨット連盟規約第 6 条に定められた競技出場資格を満たしていること。
 - (b) 2022 年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。
 - (c) 国際 470 級の競技者は、日本 470 協会の 2022 年度団体会員登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
 - (d) スナイプ級の競技者は、2022 年度 SCIRA 会員（Junior 会員、Senior 会員）であること。
会員区分については、[\(一社\) 日本スナイプ協会ホームページ](#)を確認のこと。
 - (e) 参加チームの監督およびコーチは、2022 年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。
 - (f) スポーツ安全保険（人身・物損補償）相当の保険に加入していること。

4.2 参加申込

(1) 参加資格を満たしたチームは、申込期日までに以下の手続きを完了させ、公示 5.2 に該当する参加料を振り込むことで参加申し込みが完了する。

- ①【参加申し込みフォーム】の該当する参加申込書を完成させ送信する。
参加申込書-3 および 5 については以下のメールアドレスより送信する。

【参加申込書フォーム】

- 参加申込書-1 一般事項申込フォーム
- 参加申込書-2 470 艇登録フォーム
- 参加申込書-3 470 選手申込書 (EXCEL ファイル)
- 参加申込書-4 スナイプ艇登録フォーム
- 参加申込書-5 スナイプ選手申書 (EXCEL ファイル)
- 参加申込書-6 艇・支援艇搬入出計画書フォーム
- 参加申込書-7 艇・支援艇出着艇計画書フォーム

②以下の添付書類の画像を、大会ホームページからダウンロードできる EXCEL ファイルに貼り付け、PDF ファイルに変換したものを大会ホームページの問い合わせ先より送信する。

- 競技者、監督、コーチ全員が『2022 年度（公財）日本セーリング連盟』の会員であることの証左。
- 470 級は「INTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENT FORM」の写し。
2011 年 7 月 29 日以前に登録された艇は、上記に加え「計測登録証明書」の写し。
- スナイプ級は「スナイプクラス計測証明書」の写し。2022 年度の艇登録
- 各水域で実施する「大会計測証明書」。



【提出先アドレス】 メールアドレス：kinhokugakuren.biwako@gmail.com

(2) エントリー送信フォーム送付の期限 : 2022 年 10 月 12 日 (水) 0 時

(3) 支援艇を使用する場合は、支援艇申込期日までに【支援艇申込フォーム】より送信する。

【支援艇申込書フォーム】

参加申込書-8 支援艇・応援艇許可申請書

【支援艇申込期日】 2022 年 10 月 26 日 (水) 12 時

- (4) 期日を過ぎてからの参加申込み（書類の不足または不備を含む）および競技者の追加変更登録は原則的に認められない。期日を過ぎてからの艇、セールまたは競技者、支援者、支援者艇の追加変更登録は、主催団体を納得させる合理的な理由を必要とする。

4.3 参加申込先

第 87 回全日本学生ヨット選手権大会 実行委員会 小野倭士朗
〒520-0022 滋賀県大津市柳ヶ崎 1-2



【提出先アドレス】 メールアドレス：kinhokugakuren.biwako@gmail.com

電話番号： 090-5984-5963

5. 参加料

5.1 参加料等は次の通りとする。

- (1) 参加料： 1 校／1 クラス 70,000 円
(2) 識別番号代：1 校／1 クラス（3 艇分） 6,600 円
(3) 栈橋スロープ使用料：

期 間	金 額
大会期間外（～11月1日、11月7日～）	1,740 円／1 艇 1 日
大会期間内（11月2日～6日）	870 円／1 艇 1 日

エントリー時に提出された艇・支援艇出着艇計画書に基づき計算された使用料を支払うこと。

5.2 振込期日

2022 年 10 月 12 日（水曜日）

5.3 振込先

京都銀行 本店 店番 101 普通預金 口座番号 5 3 0 4 6 7 3
口座名義：近畿北陸学生ヨット連盟 田中 直樹

5.4 エントリー締め切り後の返金は行わない。

6. 艇

- 6.1 各クラスとも 1 チーム 3 艇とする。なお、各チームとも 1 艇の予備艇を認める。
6.2 艇は、原則として参加チームの所有艇とするが、参加チームが手配したチャーター艇（学連艇に限る）も認める。
6.3 国際スナイプ級の艇は、2022 年度クラス・デコールを正しく艇体に貼付してあり、3 艇の船齢を合計して 7 年以上になることとする。
6.4 **[DP]** 予備艇の使用は、艇の補修ができないほどの損傷による場合のみとし、テクニカル委員会の承認を得なければならない。
6.5 **[DP]** 予備マストの使用は、破損による場合のみとし、事前にテクニカル委員会の許可を得

なければならない。

- 6.6 **[DP]** 艇体には、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』に基づく大学名の表示をしなければならない。【添付図 A】
- 6.7 競技者は、主催団体によって提供された、トラッキングシステムをその使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく実施しなければならない。

7. セール

- 7.1 登録及び使用できるセールは、1校につき各クラス3セットとする。（各チームとも3セットの予備セールを認める）
- 7.2 国際470級のセール（予備を含む）は、基本計測を完了していなければならない。
- 7.3 国際スナイプ級のセール（予備を含む）は、基本計測を完了しており、2022年度登録された艇番号のセールであること。
- 7.4 **[DP]** 同一のセール番号を同時に複数の艇に使用してはならない。各クラス規則に従ったセール番号以外の番号を使用してはならない。
- 7.5 **[DP]** 国際470級のメインセールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。
- 7.6 **[DP]** 予備セールの使用は、セールの紛失または補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、テクニカル委員会の承認を得なければならない。
- 7.7 **[DP]** 艇のメインセールには、レース委員会が準備した識別番号を、【添付図 B】に示す位置にスターボード側を上にして、重ならないように貼付けなければならない。
- 7.8 **[DP]** 同一の識別番号を同時に複数の艇に使用してはならない。
- 7.9 識別番号シール及び割り当て表は、登録（受付）時に配布する。

8. 日程

- 8.1 登録（受付） 2022年11月2日（水） 10:00～12:00
- 8.2 主将会議 2022年11月2日（水） 12:00～12:30
- 8.3 開会式 2022年11月2日（水） 15:00～16:00
- 8.4 レセプション 2022年11月2日（水） 16:00～16:30
- 8.5 予定されるレース日程と1日あたりのレース数は次の通りとする。

日 程	国際470級	国際スナイプ級
11月3日（木）	3	3
11月4日（金）	3	3
11月5日（土）	3	3
11月6日（日）	2	2
合計レース数	11	11

- 8.6 毎日8:00よりブリーフィングを実施する。
- 8.7 1日あたりのレース数は、レース進行状況により変更されることがある。計画しているレースを完了させるため、当日までの計画に対して1レースを越えない限りでレースを前倒しすることがある。
- 8.8 それぞれの日の最初の国際470級の予告信号予定時刻は9:25とし、国際スナイプ級はこれ

に続く。

- 8.9 11月6日(日)は12:00を過ぎての、スナイプ級についてはその7分後を過ぎての予告信号は発せられない。
- 8.10 表彰式および閉会式は、令和年11月6日(日)15:30を予定する。(時刻は予定で、最終レース終了後・成績確定後に行う)

9. 計測

- 9.1 参加チームは、艇体及びセール(予備含む)に関する各水域のオフィシャル・メジャーによる大会事前計測を完了したことを証明する「大会計測証明書」をpdf形式のファイルにし、所定の期日までにNor 4.2の参加申込先に送信し、確認を受けなければならない。同じく証明となる「大会計測済スタンプ」の押印も水域計測において受けなければならない。参加チームは、予備艇を含む艇体および予備セールを含むセールについて、各水域で実施した「大会計測証明書」を提示するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けることがある。
- 9.2 予備マストを使用する場合は、補修の範囲を超える損傷があった場合とし、使用前に大会テクニカル委員による大会計測を受けなければならない。
- 9.3 **[DP]** 水域計測は、9月23日(金)以降に実施されなければならない。「大会計測証明書」発行後は、改造を行ってはならず、計測後に改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。
- 9.4 大会事務局が納得する合理的な理由がない限り、各水域でできなかった大会計測を、テクニカル委員会では実施しない。
この場合の合理的な理由とは、参加チームの責任ではない理由にて、各水域で大会計測ができなかったことを指す。至近で艇体、セール等を購入し、大会会場で受け取った場合や大会期間外の練習で破損した場合等は、合理的な理由とはならない。
なお、実施する場合の計測料は、艇体・スパー類それぞれ3,000円/1艇体、3,000円/1セールとする。

10. 帆走指示書

- 10.1 帆走指示書は、2022年10月4日(火)までに[大会ホームページ](#)にアップする。
- 10.2 帆走指示書に対する事前の質問は、2022年10月16日(日)までに[大会ホームページ](#)の問い合わせフォームより送信すること。回答は[オンライン掲示板](#)にて行う。

11. 開催地

- 11.1 **【添付図C】**は、大会ハーバーの場所を示す。
- 11.2 **【添付図D】**は、レース海面の場所を示す。

12. コース

【添付図E】の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

13. 得点

- 13.1 大会の成立には、3 レースを完了することが必要である。
- 13.2 クラス別のチーム得点は、実施された全てのレースにおける各チーム 3 艇の得点の合計とし、より得点の低いチームを上位とする。これは、付則 A2 を変更している。クラス別のチーム得点がタイとなった場合は、付則 A8 の「艇」を「チーム」に置き換えて適用する。
- 13.3 総合のチーム得点は、両クラスに参加したチームの両クラスの全てのレース得点の合計とし、より得点の低いチームを上位とする。総合の得点がタイとなった場合には、当該チームは同順位とし、その次の順位を欠位とする。
- 13.4 総合得点がタイとなった場合は、その大学は同位とし、その次の順位を欠位とする。
- 13.5 RRS 90.3(b) に規定された失格(「DNE」)に対する得点は、参加艇数に 5 を加えた得点とする。これは付則 A4.2 を変更している。
- 13.6 競技者、監督およびコーチは、[オンライン掲示板](#)にある『成績照会』に記入することで、掲示されたレースまたはシリーズ成績の誤りの訂正を要請することができる。

14. 支援艇・応援艇

14.1 支援艇と応援艇の区別

- (1) 支援艇は、監督、コーチまたはその指示するものが乗艇するエンジン付きボート及びクルーザーで、水上においてレース中ではない自校に所属するレース艇に対し、以下の支援ができる。
- (a) レース艇（選手）へのアドバイス、応援。
 - (b) レース艇の交換装備の積み込み、装備交換の援助、破損した装備の引き取り。
 - (c) 飲料水、食事の選手への供与、ゴミの引き取り。
- (2) 応援艇は、レースの観覧・応援専用のエンジン付きボート及びクルーザーで、レース艇への援助は一切出来ない。応援艇の他校との共用は認められる。
- 14.2 **[DP]** 支援艇・応援艇を持ち込む場合は基本的に事前登録が必要である。登録は Nor 4.2 の「参加申込書-8」の「支援艇・応援艇許可申請書」を期限内に[大会ホームページ](#)の Google フォームに送信することにより完了する。登録に基づき、支援艇・応援艇には受付時に「支援艇・応援艇許可証」が発行され、レース委員会から黄色テープが貸与される。支援艇・応援艇は水上において常に識別できるようスターボード・ボート両サイドの目立つ位置に黄色テープを 1 m 以上貼り付けなければならない。
- 14.3 **[DP]** 支援艇・応援艇は、「支援艇・応援艇許可証」及び帆走指示書に記載されるレース委員会からの指示事項を守らなければならない。
- 14.4 **[DP]** レース委員会の指示に従わなかった支援艇・応援艇は、以後出艇が許可されないほか当該支援艇・応援艇に関わるチームの全レース艇に対してプロテスト委員会の裁量によるペナルティーが課せられることがある。
- 14.5 応援艇の追加登録のみ認めるが、できる限り事前に Nor 4.2 に従って登録すること。
- 14.6 レース委員会艇に「ピンク旗」が掲揚された場合、支援艇は、レース・エリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。

15. **[DP]**無線通信

緊急の場合を除き、艇は、レース中無線の送受信を行ってはならない。この制限は携帯電話にも適用する。

16. 賞

賞は次のように与える。

クラス	優勝旗 (持ち回り)	賞状	賞品
国際470級	1位	1位～6位	1位～3位
国際スナイプ級	1位	1位～6位	1位～3位
総合	1位	1位～6位	1位～3位

17. 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任でこのレガッタに参加する。RRS 3「レースすることの決定」参照。主催団体は、レガッタ前、レガッタ中またはレガッタ後に生じた物的損傷または人身傷害もしくは死亡に対するいかなる責任も負わない。

18. 大会期間中の競技者の肖像権

選手は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手又は本大会における選手の装備に関する動画、スチール写真及び撮影された映像又はその製版について、対価を求めることなく、主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

19. **[DP]**コロナウイルス感染予防対策

19.1 競技者及び支援者は、[大会ホームページ](#)で入手できる「コロナウイルス感染予防対策について」に従わなければならない。

19.2 選手は、厚生労働省が公表する「新しい生活様式」を遵守すること。

19.3 マスク、消毒液など感染対策に必要な物は、選手自身で準備すると共に柳が崎ヨットハーバー内及びびわ湖大津館内では必ずマスクを着用する。

19.4 大会期間内にコロナウイルス陽性反応が出た場合は大会に参加できない。

19.5 選手は、毎朝の健康状態を確認し「選手用健康チェックシート」をブリーフィングまでに[大会ホームページ](#)の Google フォームにて提出する。

19.6 ハーバー入所時は、体温測定と手の消毒を実施する。この結果、体調に異常がある場合は来場できない。

19.7 大会期間中にコロナウイルス感染の疑いがある場合は、主催団体に報告する。

20. 大会中止の要件

次の場合は、大会を中止することがある。

- ・全日本学生ヨット連盟の加盟校が活動する地域において日本国政府による緊急事態宣言が再宣言された場合。ただし、状況を確認し出場校などに影響が無いと判断された場合は、この限りでない。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため行政機関等より、滋賀県において 1000 人規模を上回る屋外イベントの中止依頼がされた場合。
- ・公的機関から大会中止の指示がされた場合。
- ・大会会長が、中止を判断したとき。
- ・大会期間中に大会が中止された場合でも、Nor13.1 が満たされた場合は、大会は成立する。

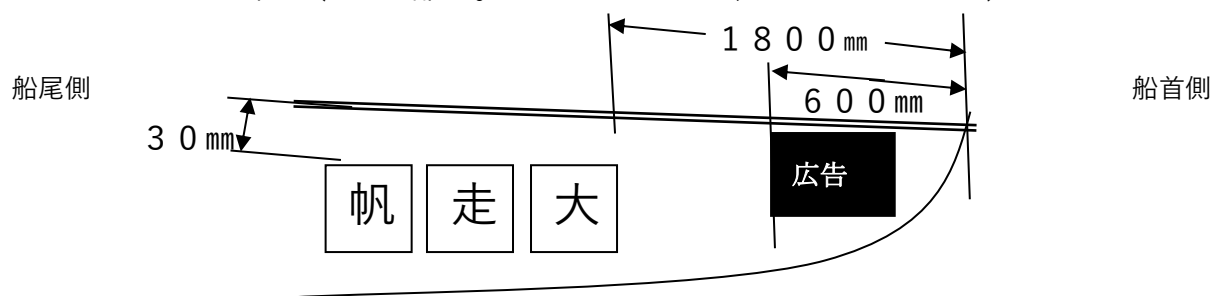
21. 問い合わせ先

本大会に関する問い合わせ先は[こちら](#)

kinhokugakuren.biwako@gmail.com

【添付図 A】 艇の識別番号貼付位置

- ・艇への貼付け位置（■の部分。スターボード側、ポート側の両側）

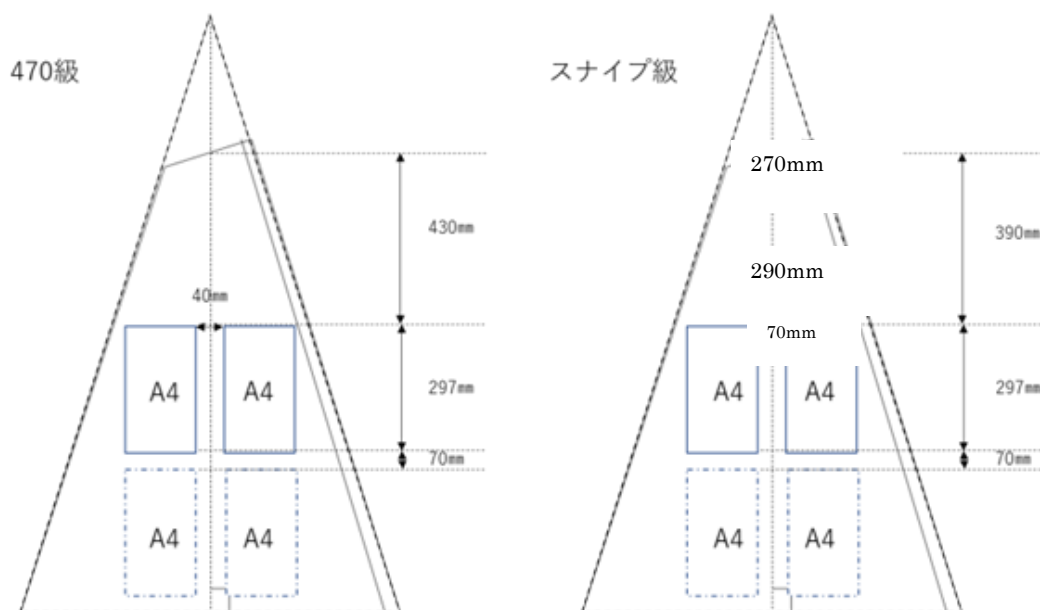


※貼付け位置の若干の誤差は無視する。

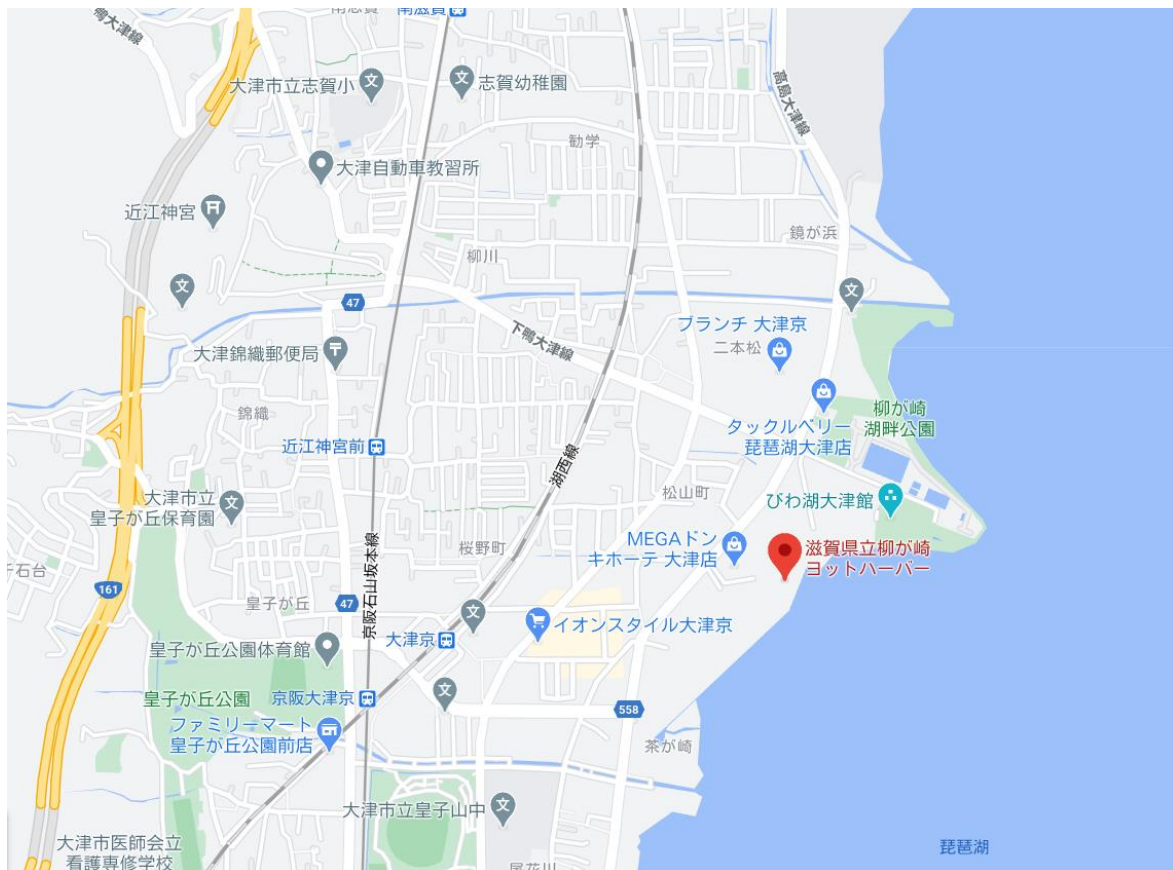
【添付図 B】 セールの識別番号貼付位置

識別番号の色：国際470級は赤、国際スナイプ級は青色

※リコールナンバー貼り付け位置（スターボ側が上）



【添付図 C】 大会会場 滋賀県立柳が崎ヨットハーバー

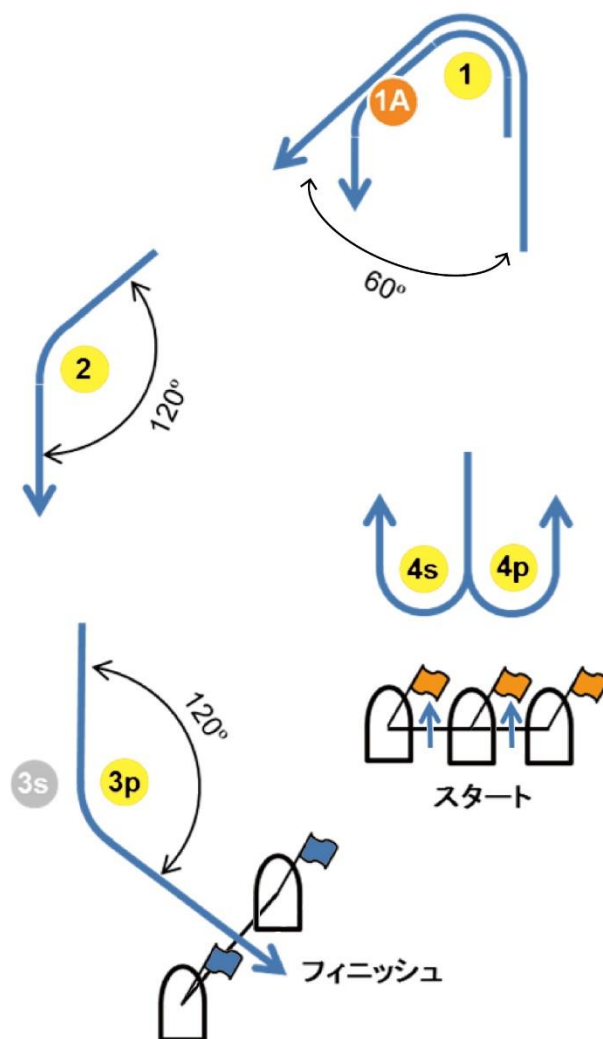


【添付図 D】 レース・エリア (A または B)



【添付図 E】 コース見取り図

I (インナートラペゾイド・コース、オフセット・マーク有り)

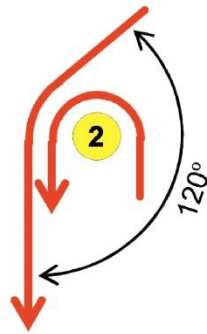
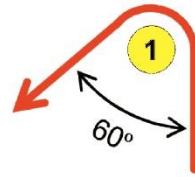


信号 マーク通過順

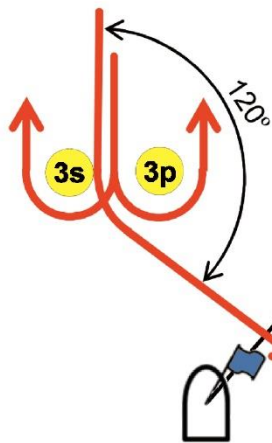
I2 スタート - 1 - 1A - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - フィニッシュ

I3 スタート - 1 - 1A - 4s/4p - 1 - 1A - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - フィニッシュ

○ (アウトトラペズイド・コース)



4s 4p



フィニッシュ

信号 マーク通過順

O2 スタート - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - フィニッシュ

O3 スタート - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - フィニッシュ